

## 令和2年度 横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラム（検証結果）

横浜ひなたやま支援学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定め、1年間取り組んだ。ここに実施結果と目標の達成状況を報告する。

課題	目標	行動計画の実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員との打合せにおいて事故防止会議を適宜開催し、不祥事防止に係る教育長通知の周知や注意喚起等を行った。また、月に一回、不祥事防止職員啓発・点検資料を全職員に配付し、不祥事防止の意識向上と関連情報の提供を行った。添付した点検表を回収し、必要に応じて適切な判断ができるよう説明を行った。これらを実施した結果、職員の法令遵守意識向上や公務員としての行動意識の向上を図ることができた。</li> </ul>
2	体罰、不適切な指導の防止 生徒に対する わいせつ・セクハラ行為の防止 職場のハラスメント パワハラ、セクハラ、マタハラ等の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①「人権や生徒への影響を配慮した生徒指導」 不祥事防止職員啓発資料を基に、職員が各自で点検表をチェックし、回収した（回収率87.7%）。点検表の項目で誤った回答をした職員が2名いたため、職員の情報共有サイトでの報告で触れ、説明した。</li> <li>・②「STOP! ザ・セクシュアル・ハラスメント」 セルフチェック方式に取り組んだ。</li> </ul> <p>※資料配付による校内研修となったが、概ね目標の達成はできたと考える。</p>
3	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月8日、全職員を対象に、個人情報の管理、情報セキュリティに関する研修会を実施した。個人情報のある紙媒体の閲覧方法や保管の方法について、個人が特定できる電子データの取扱いなどについての注意喚起を行った、ルールに基づいた取扱いについて全職員で確認することができた。</li> <li>・11月27日、令和3年度入学者選抜についての全体打合せを行い、入学者選抜マニュアルや個人情報の記載された資料の取扱いについて伝え、適切な管理方法を再確認できた。</li> </ul>
4	業務執行体制の確保と事故の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月28日、文書の取扱いおよび私費会計の処理について、校内研修を書面で実施した。事例に対する対応策やチェックシートの記入に各自で取り組む形で実施し、研修後には、自由記述であった事例への対応策、チェックシートの解説、集計結果を資料にして報告した。チェックシートの集計では「一部知らない項目があった」と回答した職員が5割程度いたため、県の基準や本校のシステムを再確認し、理解を深める機会とすることができた。</li> <li>・不祥事防止職員啓発・点検を実施し、啓発資料等による理解や意識の向上を図った。</li> </ul>
5	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季や冬季休業前には、交通事故防止や交通法規の順守について全職員に注意喚起等を行った。特にあおり運転に関することや飲酒運転（同乗含む）の防止について、気を付けなければならない箇所を確認し、安全運転の意識づけを図った。事故の際には速やかに管理職に報告すること等を繰り返し周知し、徹底することができた。</li> </ul>

○1年間の取組で一定の成果は得られたと考えるが、特に教職員の人権意識の向上や個人情報の適切な取扱いの徹底については、今後も推進していく必要があると考える。不祥事の未然防止に向け、感染症対策を踏まえた効果的な事故防止会議や不祥事防止研修会を実施していきたい。